

## 第1回 地域医療支援病院運営委員会および地域協議会 議事録

開催日時;2024年4月11日(木)14時30分

場所 ;JCHO大阪病院 6階会議室5

出席者 ;【委員】

委員	JCHO 大阪病院	院長	西田 俊朗
委員長	JCHO 大阪病院	院長特任補佐	市川 肇
委員	JCHO 大阪病院	副院長	金子 晃
委員	JCHO 大阪病院	副院長(看護部長併任)	谷岡 美佐枝
委員	JCHO 大阪病院	事務部長	細井 昌宏
委員	福島区医師会	会長	中島 滋郎
委員	福島区医師会	副会長	塚本 尚哉
委員	福島区医師会	理事	塚本 雅子
委員	福島区歯科医師会	副会長	石田 裕將(代理)
委員	福島区薬剤師会	会長	伊東 敏行
委員	福島消防署	署長	松田 幸久
委員	(病院利用者)		雑賀 孝
委員	(病院利用者)		西川 まさ子

【関係者】

大阪病院	救急科診療部長	小笠原 延行
大阪病院	副看護部長	岩田 富美
大阪病院	医療福祉相談室・地域医療連携室室長	三村 麻紀子
大阪病院	救急外来看護師長	松山 佳子
大阪病院	総務企画課長	小西 英康
大阪病院	医事課長	橘 弘城
大阪病院	地域医療連携室係長	小谷 直子

【議題】

1. 地域医療支援病院 指定要件に関する定期報告
  - 1) 救急医療の提供に関すること
  - 2) 紹介患者に対する医療提供に関すること
2. 入退院支援
3. 地域医療連絡会
4. 当院に対するご質問、ご要望等

1. 1)救急医療の提供に関すること

救急救命士を3名採用し、かなりマンパワーが充実したので、今後の救急搬送にそれを生かしていきたい。

松田署長:この時期は急性アルコール中毒の搬送が増えるので、ご協力をお願いしたい。

1. 2)紹介患者に対する医療提供に関すること

①紹介・逆紹介

令和5年度の紹介率は平均75%前後を維持し、逆紹介率も約125%で推移している。

地域医療支援病院として比較的安定した状況を維持できていると考えられる。

1. 2)②緊急受診・転院相談

年々相談件数は増えていて、令和5年度は月平均202件となっている。

診療所については、ほぼ9割以上受け入れをしているが、今後の課題として病病連携というところも強化していきたい。

2. 入退院支援

退院調整の転帰について、当院では療養病床への転院に関しては減少している傾向にある。

また、退院時共同指導実施件数については、月平均13件ぐらいにもどってきている。

3. 地域医療連絡会

3月に地域医療連絡会を実施し、今回は後方連携(退院後の医療継続と多職種連携)をテーマとした。

院内外併せて139名の参加をいただき、今後も後方連携についての連絡会を引き続き継続していきたいと考えている。

次回は6月8日(土)に前方連携の会を計画中である。

4. 当院に対するご質問、ご要望等

松田署長:他の病院のことであるが、MRI装置の部品が関係するボヤ騒ぎがあったので、日々の点検、メンテナンスについてご注意いただきたい。

塚本副会長：電子カルテの共有化について、紹介状のやりとりを行わないで、電子カルテを閲覧できるような将来のシステムに関して、勉強会を立ち上げたいと考えている。

そこにはサイバーセキュリティの問題に注意が必要である。

西田院長：電子カルテの共有化に関連して、少し時間がかかるが、地域連携については今後電子化していく方向と思われる。

セーフティーゾーンを作る必要はあるが、直接予約をとれるようなことが考えられる。

以上